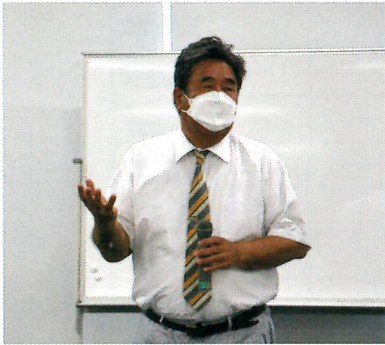


■ 第17回定期総会が開催されました



▲挨拶をする近藤委員長

■令和4年6月13日（月）連尺学区福祉委員会総会が図書館交流プラザリぶらにて開催されました。各町総代、福祉委員、民生児童委員、健康推進委員、PTA、老壮クラブ、及び各団体代表53名の参加のもと各議案の審議を頂き可決承認されました。福祉セミナーでは学区福祉委員会の概要・役割等が紹介され、これから加速度的に少子高齢化社会を迎える心構えをレクチャ頂きました。また、地域包括支援センターからも役割活動等を紹介して頂きました。



▲総会とセミナーの様子

令和4年度 連尺学区福祉委員会役員の皆さん

委員長	近藤 宗保（総代会）
副委員長	後藤 敏子（民生児童委員協議会会長）
副委員長	吉見 博一（老壮クラブ連合会長）
副委員長（総務）	本間 康夫（総代会）
事務局（会計・広報）	佐谷 智（総代会）
監査	都筑 吉則（総代会） 稲垣 朋子（民生児童委員協議会）
相談役	平岩 幸一（総代会長）

■ 福祉セミナー



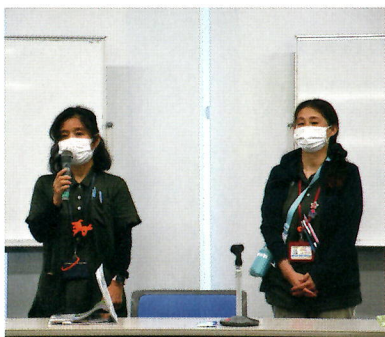
▲岡崎市福祉協議会から

学区福祉委員会とは

小学校区という身近な生活の場（小地域）において、日常生活の中で起こりうる困りごとや課題に早期に気づき、必要な社会資源（地域における施設、公的機関、サービス、協力者）につなげ、「誰もが安心できる地域づくり」を目指します。地域住民が主体となって、関係機関と協力しながら、小地域福祉活動に取り組む団体です。また、岡崎市地域福祉計画においても注目されており、地域福祉を推進する組織として期待されています。

学区福祉委員会へのお問い合わせ先

社会福祉センター1階 電話 47-7955 FAX 47-7956



▲さくらの里地域包括支援センター

さくらの里 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、岡崎市が設置している高齢者等の総合相談窓口です。

高齢者の介護サービスだけでなく福祉サービス、地域活動への参加など多様な機関と連携して、ご本人、ご家族の相談に応じています。

また、地域の見守りや支えあい活動など、様々な人や団体、事業者、法人等の活動をつなぐことで、住みやすいまちづくりを目指しています。

さくらの里 地域包括支援センターへのお問い合わせ

電話 22-3030 FAX 22-2700













連尺学区

(1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成28年	9,719人	4,457世帯	26.1%	12.5%
令和3年	9,924人	4,739世帯	27.0%	12.5%

資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

(2) これまでの取組

	第3次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R1	R2
1	高齢者支援のさらなる充実	① 高齢者の交通手段の確保	—	—	
2	新たな福祉課題を抱える人の把握と支援の方法についての理解	① 法テラスや地域包括支援センターへの相談・提案	—	—	
		② 家族の協力を得ることが必要	—	—	
		③ 引きこもりの老人をどう見守るか話しあう	—	—	
		④ 防災を糸口に関係づくりを行う	—	—	
		⑤ 近隣や第三者からの相談を聞く	—	—	
3	各町単位での福祉活動の推進など、学区福祉活動の充実	① それぞれ趣味にあった会をつくる	—	—	
		② 各学区、各町の問題意識を共有する	—	—	
		③ 防災、助けあいの取組を強化	—	—	
		④ 障がい者などを含めた防災訓練の実施	—	—	
4	行政との連携	① 市や社協の担当者と顔の見える関係づくりを行う	—	—	
5	ボランティア活動	① ボランティアでできること、そうでないことを整理する	—	—	

(3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

連尺学区のめざす姿

**各町が情報を共有しながら、
いきいきと活動できる連尺学区**

<理想の地域像と、そのための具体的な活動>

No. (★)	理想の地域像	活動	令和8年度までに、理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連するNo.(★)
1	町ごとの課題や活動を共有し、地域に合った活動が継続できる	見守り	① 高齢者の見守り（年2～3回） ・民生委員と連携 ② 登下校の見守り （交差点での立ち当番を継続して実施）	1
		広報・研修	① 福祉だより（年2回発行） ② 研修会（年2回） ・福祉セミナー	3・4 1・2
2	外出支援により誰もが安心して外出ができる	防災・防犯	① 防災訓練 ・学区で年1回実施 ・町ごとで実施 ② 災害時避難行動要支援者名簿の整理 ・名簿を活用して声かけや安否確認の実施 ③ 救急医療情報キットの作成（継続） ④ 安全バトロール（町ごとに毎月実施） ⑤ 清掃活動 ・乙川、伊賀川、矢作川の清掃	1
3	福祉だよりが充実し、地域の情報を得ることができる	サロン	① いきいきクラブ（各町での活動を推進） ② 世代間交流（各町で増加） ・焼き芋大会、グラウンドゴルフ、餅つき大会、盆踊り、スタンプラリー等の実施 ③ ごまんぞく体操（全町での実施） ④ ひとり暮らし高齢者との食事会 ・少人数のグループで実施 ・交通手段がなくて参加できない人のための乗り合いタクシー補助について検討	1・2
		他機関との連携	① 他機関との情報共有 ・地域包括支援センターとの連携 ・市役所担当者の会議への参加	4
4	他団体と連携が取れ、地域全体を見守ることができる			